東京音楽大学リポジトリ
Tokyo College of Music Repository

「原田甫自筆譜コレクション」について

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2019-06-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 鳥海, 高広, Toriumi, Takahiro メールアドレス: 所属:
URL	https://tokyo-ondai.repo.nii.ac.jp/records/1282

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.

「原田甫自筆譜コレクション」について

日本データベース開発 株式会社
鳥 海 高 広

1. 寄贈の経緯

2014 年に亡くなった作曲家、今井重幸[1]の自筆譜と所蔵した書籍や楽譜が寄贈され、その中に池野成[2]の純音楽の資料と原稿、原田甫[3]の自筆譜が含まれていた。池野成に関しては今年度から「池野成自筆譜コレクション」[4]として図書館での運用を開始したが、原田甫に関しては昨年度から今年度にかけて資料の整理とデジタル化を行い、来年度早々の運用スタートを目指している。

2. 原田甫について

原田甫は北海道旭川市出身。10 代の頃、伊福部昭[5]の《交響譚詩》をラジオで聴いたことから作曲家を志した。伊福部と同じ札幌二中を経て、1950 年、東京音楽学校[6]に入学し、池内友次郎[7]、伊福部昭に師事した。伊福部が 1953 年に東京藝術大学を辞任すると、原田は師匠の伊福部に従って中退した[8]。

原田について書かれた資料は少なく、詳細にわかっている作品も多くはない[9]。その中で比較的資料が残されている作品に以下の 4 点がある。

1958 年 12 月 9 日から 11 日にかけて俳優座劇場で行われた「劇団人間座・現代舞台芸術協会提携公演」にて、今井重幸演出、ヨネヤマ・ママコ[10]振付による《Ballet pantomime Hanchikiki》が初演された。アイヌ民族の神話に着想を得て、原田自身が台本を書き下ろした。この作品は、日本の舞踊史を語る上でも、重要な作品の一つとして考えられているようで、

---

[1] 今井重幸（いまいしげゆき　1933-2014）。作曲家、舞台演出家、構成作家。別名、まんじ敏幸（まんじとしゆき）、島敏幸（しまとしゆき）。今井の自筆譜と所蔵した資料は現在整理中。
[2] 池野成（いけのせい　1931-2004）。作曲家、元東京音楽大学作曲科非常勤講師。
[3] 原田甫（はらだはじめ　1930-1993）。作曲家。川釣りに関する著作があり、東京都釣魚連合会常任理事なども勤めた。
[4] 鳥海高広「池野成自筆譜コレクション」について『ライブラリーレポート』第 4 号、p. 43-58。http://tokyo-ondai-lib.jp/collection/ikeno/。
[5] 伊福部昭（いふくべあきら　1914-2006）。作曲家、教育者。元東京音楽大学作曲科教授。元東京音楽大学学長。
[6] 東京音楽学校は 1952 年 3 月に廃止され、1953 年からは東京藝術大学音楽学部となった。
[7] 池内友次郎（いけのうちともじろう　1906-1991）。作曲家、教育者、俳人。
[8] この時、池野成も中退している。
[9] 主要作品については、東京音楽大学付属図書館編『原田甫自筆譜コレクション』2018 年を参照のこと。
[10] ヨネヤマ・ママコ（1935-）。日本の舞踏家、振付師、パントマイマー。日本におけるパントマイムの草分けとして活躍を続けている。

比較的資料が多く残っている。但し、音楽の内容について詳しいことはわかっていなかった。自筆譜が残されていることにより、今後研究が進むことが期待される。

次に、1977年に東京マンドリン・アンサンブル[11]のために作曲された《Mandolin symphony》がある。原田は1983年にも、東京マンドリン・アンサンブルのために《田園小曲集》を作曲した[12]。《Mandolin symphony》は、後に管弦楽に編曲された[13]。

3点目は、1980年にギタリスト岩本良之のために作曲された《ギター・ソナタ》で、『現代ギター』の付録[14]として出版された。原田の生前に出版された作品は、この曲のみである。また第2楽章と第3楽章は、後にピアノ独奏曲に編曲された。

4点目は、原田の師匠である伊福部昭が1987年に勲三等瑞宝章を受章し、翌1988年に行われた「叙勲を祝う会」で初演された《¡ FELICIDADES EL MAESTRO !》。伊福部昭に教えを受けた他の9人の作曲家の作品《九人の門弟が送る「伊福部昭のモチーフによる讃」》の1曲として作曲された[15]。

その他に、ドキュメンタリー映画やテレビドキュメンタリーなどの作品や、マンドリン・アンサンブルのための編曲家として活躍した。

作曲以外に、川釣りを趣味として、川釣りに関する書籍を著した。また、東京都釣魚連合会常任理事なども務めた。

3. コレクションの概要

残されている作品が少ないこともあり、寄贈された作品は、舞踊音楽《Ballet pantomime Hanchikiki》（1968年）、マンドリン・アンサンブルのために作曲された《Mandolin symphony》（1977年）を管弦楽編曲した作品（1992年）、《ギター・ソナタ》（1980年）の第2楽章と第3楽章をピアノ用に編曲した《冬の印象》（年代不詳）の3曲。前述のように、いずれも今井重幸が所有していた自筆譜とそのコピー譜である[16]。

---

[11] 東京マンドリン・アンサンブルは、1972年竹内郁子を中心に結成された。http://www016.upp.so-net.ne.jp/mdmd/。

[12] 《Mandolin symphony》と《田園小曲集》は、どちらの曲も東京マンドリン・アンサンブルの竹内郁子氏が委嘱した作品。原田と東京マンドリン・アンサンブルの関係は、当時東京マンドリン・アンサンブルの指揮をしていた吉澤博によって紹介されたようである。

[13] 日本音楽著作権協会（JASRAC）への登録は《Simfonia primera la》。

[14] 『現代ギター』1981年1月号 15巻1号（通巻174号）別冊付録。

[15] その時に演奏されたのは、芥川也寸志《ゴジラの主題によせるバラード》、池野成《Omaggio a maestro A.Ifukube》、石井眞木《幻の曲》、今井重幸《狂想的変容》、原田甫《¡ FELICIDADES EL MAESTRO ! 》、松村禎三《Homage to Akira Ifukube》、真鍋理一郎《Omaggio al maestro Ifukube》、三木稔《Gozilla is dancing》、黛敏郎《Hommage a A.I. 》の9曲。

[16] 東京マンドリン・アンサンブルが所有するマンドリン・アンサンブルのための『Mandolin symphony』と『田園小曲集』の自筆譜のデジタルデータが近々寄贈される予定。

3-1.《Ballet pantomime Hanchikiki》

編成が同じ2種類の自筆譜がある。1つはペン書きでもう1つは鉛筆書き。それぞれ表紙が付けられている。編成は、2種類ともアルト独唱、バス独唱2を含むオーボエ2、ファゴット、金管楽器群、打楽器群と弦楽器。五線紙は各々違うものが用いられている。

初演は、1958年12月9日から11日に俳優座劇場で行われた「劇団人間座 現代舞台芸術協会」合同公演。再演は、1959年6月28日に日本青年館ホールで行われた「現代舞台藝術協會第一回公演」[17]。

それぞれの自筆譜には、同じ番号で違う曲が含まれているものがある。台本や音源が残されていないので、再演にあたり追加したものなのか、差し替えられたものなのか、なぜ2種類の楽譜が存在するのかを含めて詳細はわかっていない。

3-2.《Mandolin symphony》

表紙に曲の出だしが1ページ記述されたものと、表紙が無く、出だしを含めて曲の全体が記述されたものの2種類がある。なぜ表紙と出だし1ページのものが存在するのかはわからない。さらに、表紙が無い自筆譜のコピー譜が1部ある。表紙には、原田による書き込みがある。

表紙の記述を考えると原譜はタイのお墓に自筆譜を納め、コピー譜を手元に置いておこうと思っていたのかもしれない。結果として楽譜が大きすぎて入らなかったため、自筆譜とコピー譜の両方が残されることになったとも考えられる。

この曲の原曲であるマンドリン・アンサンブルのための作品は、1977年に初演された。しかしなぜ、マンドリン・アンサンブルのための作品が1992年になって管弦楽化されたのか、その理由はわからない。演奏される予定があったのかも含めて、詳細は不明である。

3-3.《冬の印象》

1980年に初演された《ギター・ソナタ》の第2楽章と第3楽章をピアノに編曲した《冬の印象》も、なぜピアノに編曲したのかはわかっていない。この自筆譜には、原田によって「旧作のギター・ソナタをピアノように改変した曲です。元の第1楽譜[ママ]を割愛してあります」という記述と、「永富[18]先生様江　原田甫」と書かれた文章が添えてある。また、自筆譜のコピー譜には伊福部昭に宛てた封筒のコピーが添えてある。

1曲目（原曲の第2楽章）には「Nocturno」というタイトルが、2曲目（同第3楽章）には「Y Viento y Nieve = 風と雲と」というタイトルが付けられている。

---

[17]「げいじゅつきょうかい」の漢字表記の違いはプログラムによる。

[18] 永冨正之（ながとみ　まさゆき　1932年 -）は、作曲家。東京芸術大学名誉教授。伊福部昭門下。

最愛のいといいといい

妻に捧げる。《タイへ》

La Sinfonia Primera

Mandolin Symphony

始めマンドリン、アンサンブルのために書いたものを、オーケストに編曲した。標題もそのままである。

Hajime Harada

(妻の入院中に)

La Sinfonia

演奏時間 約25分

1992.4.18 書了

1992.4.10 書記去 (午後3時)

なお、原曲、マンドリン・シンフォニーの譜面は、一部をタイの墓に収納する。1992.5.18 京譜中 ⟶ 出来上がり。

上記のことは当日、不可能とあって〈狭い〉 6月1日

(6月7日)実現しるかった。

《ギター・ソナタ》は1980年11月10日にルーテル市ヶ谷センターで行われた「岩本良之Guitar concert」で初演されたことがわかっている。岩本良之のお弟子さんである、山田静夫さんに連絡したところ、初演のプログラムのコピーを送ってくださった。初演の時に使用された楽譜を探してもらったが、見つからなかった。この曲は、『現代ギター』の付録[19]として出版されているため、近年でも演奏される機会がある[20]。

終わりに

原田自身が残した資料も、原田について書かれた資料も、あまり多くない。また、音楽作品よりも、川釣り関係の書籍の方が比較的手に入りやすい状況にある。

とくに映像作品や歌曲などの自筆譜は、現存しているのか、紛失したのかも含めて詳細は不明である。今後も引き続き調査を進めたいと思っている。

今回寄贈されたコレクションを活かし、今後研究が進むことで、作曲家原田の研究や音楽作品の再演などが行われることを期待している[21]。

---

[19] 註14参照。

[20] 咐崎考宏（ギター）『日本のギター作品』、Mittenwald MTWD99035　2008年に《ギター・ソナタ》の第一楽章が収録されている。

[21] 東京音楽大学付属図書館コレクションサイト内に「原田甫自筆譜コレクション」のサイトがオープンしている。http://www.tokyo-ondai-lib.jp/collection/harada。

参考文献

書籍

「原田甫」 日外アソシエーツ株式会社編集『日本の作曲家 近現代音楽人名事典』日外アソシエーツ , 2008 年、543 ページ

雑誌・論文

「ハンチキキ」の成功 現代舞台芸術協会の公演　週間音楽新聞 1959 年 1 月 4 日 新年特別号、17 ページ

橘川琢　明日の歌を（第六回 -5）今井重幸 その 5『音楽の世界』2012 年 8-9 月号（第 541 号）、32-35 ページ

北原まり子「1950 年代日本の《春の祭典》上演 - 戦後復興と新世代の台頭 -」『早稲田大学大学院文学研究科紀要 第 3 分冊 , 日本語日本文学 演劇映像学 美術史学 表象・メディア論 現代文芸』61 巻（2016 年）, 59-73 ページ（『早稲田大学リポジトリ』（2018 年 11 月 15 日アクセス））

プログラム

「劇団人間座現代舞台芸術協会」 俳優座劇場　1958 年 12 月 9-11 日

「現代舞台藝術協會第一回公演」日本青年館ホール　1959 年 6 月 28 日

「岩本良之 Guitar concert」ルーテル市ヶ谷センター　1980 年 11 月 10 日

「東京マンドリン・アンサンブル オーケストラ '83」 朝日生命ホール　1983 年 6 月 3 日

「40 周年記念東京マンドリン・アンサンブル コンサート 2012」 日本青年館大ホール 2012 年 6 月 3 日

CD

『伊福部昭先生の叙勲を祝う会祝賀コンサート』 東芝 EMI LD32-5077, 1998 年

『日本のギター作品』咑崎考宏（ギター） Mittenwald MTWD99035, 2008 年

『古稀記念 交響コンサート 1984』 Fuga NOOI5011-NOOI5013, 2014 年

Web サイト

「Salida インタビュー池野成音声配信 原田甫・松村禎三・三木稔」Salida（サリーダ）（2018 年 1 月 15 日アクセス）http://salida1.web.fc2.com/salidaintabyuikenoseiharadamatumuramiki.html

「原田甫」日本版ウィキペディア（2018 年 1 月 15 日アクセス）https://ja.wikipedia.org/wiki/ 原田甫

日本映画データベース（2018 年 1 月 15 日アクセス）http://www.jmdb.ne.jp/

「(9) 雨の巻」短編映画研究会 SHORTFILM RESEARCHERS（2018 年 1 月 15 日アクセス）http://d.hatena.ne.jp/tancho/200506